

事業番号	07 06 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州地酒振興事業費		部局	産業労働部	課・室	日本酒・ワイン振興室
			実施期間	H14～	E-mail	jizake@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			
	2-3 海外との未来志向の連携					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	<ul style="list-style-type: none"> ・県原産地呼称管理制度の創設(H14年度) ・信州ワインバレー構想の策定(H25年度) ・日本酒・ワイン振興室の設置(H28年度) ・県内の日本酒・ワイン醸造所数 全国2位(酒蔵80か所、ワイナリー47か所(H30年度))
	【目指す姿】
	県産日本酒やワイン等の地酒産業の振興に向けて、醸造技術の向上や販路開拓を推進し、信州地酒の品質向上や消費拡大による地域活性化を進める。
	【実施内容】
	長野県原産地呼称管理制度運営事業、信州日本酒全国NO1奪還プロジェクト、NAGANO WINEグローバルチャレンジ事業

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No.	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越	0	0
1	全国新酒鑑評会での金賞受賞数	10	12 ↗	14 ↗	21		未達成	現計予算	49,856	43,192
2	日本酒出荷量 kℓ	11,143 (H28)	10,781 ↘ (H29)	10,154 ↘ (H30)	11,076 (H30)		未達成	合計(A)	49,856	43,192
3	里親制度登録ワイナリー	9	9 →	11 ↗	10		達成	うち一般財源	32,903	16,043
4	ワイン出荷量 kℓ	4,414 (H28)	4,623 ↗ (H29)	4,777 ↗ (H30)	4,580 (H30)		達成	決算額(B)	47,152	38,240
								職員数(人)	4	4

成果指標設定理由	1 県内酒蔵における清酒の品質向上の成果を図るための指標 ※目標値：21点(設定時の全国1位県の受賞数を超える数値) 2 PRや販路拡大による消費拡大の成果を図るための指標 ※目標値：過去の実績の推移に基づき算出 3 新規参入者の育成を図る体制整備を把握するための指標 ※目標値：10件(前年度実績値により算出) 4 PRや販路拡大による消費拡大の成果を図るための指標 ※目標値：過去の実績の推移に基づき算出
----------	---

達成状況の分析	1 高度な醸造技術習得には一定年数を要することから、金賞受賞蔵数は前年度より増加したが、目標を下回った。 2 国内での日本酒消費量が減少傾向にあり、本県においても前年度より減少したことで目標を下回った。 3 開設3年以上の醸造経験を持つ、研修生の受け入れが可能なワイナリーが増加し、目標を達成した。 4 新規ワイナリーの開設と醸造技術の向上により、目標を達成した。
---------	---

主な取組	✓長野県原産地呼称管理制度の認定 ・日本酒(3回 134品認定)、焼酎(2回 4品認定)、ワイン(2回 78品認定)、シードル(2回 7品認定)	 <p>原産地呼称管理制度官能審査委員会の</p>
	✓信州日本酒全国No.1奪還プロジェクト事業 ・スーパーバイザーによる指導 重点指導蔵個別指導 (純米吟醸蔵5蔵、その他臨場蔵12蔵)、製造技術講習1回 ・成分分析等の結果による「吟醸酒製造マニュアル付記版」作成	
	✓NAGANO WINEグローバルチャレンジ事業 ・県内ワイナリーの視察 (2/28～3/2 12場) ・県産ワインの試飲評価 (白17、赤16、ロゼ1銘柄) ・国際コンクールの出品実績 (7社19品)	
	✓NAGANO WINE FESinTOKYOの開催 ・令和2年2月9日(会場：帝国ホテル東京) 参加ワイナリー33社、来場者約600名	

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・日本酒：全国的な評価を高めるため、醸造技術の一層の向上 ・ワイン：高品質なNAGANO WINEブランド確立のための、起業希望者や、経験の浅いワイナリーを対象とした技術サポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・純米酒及び純米吟醸酒を対象とした醸造技術の向上に向け専門家などの指導を強化し、本県が目指す日本酒づくりを確立 ・ワイン産業への参入前後の技術力向上や業界内での連携による生産体制づくりを図る

事業番号 07 06 01 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	信州地酒振興事業費	部局	産業労働部	課・室	日本酒・ワイン振興室
-----	-----------	----	-------	-----	------------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	信州日本酒全国No.1奪還プロジェクト事業	16,119 千円	15,118 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	醸造指導体制の強化	委託	醸造専門家(1名)及び分析従事者(1名)を配置し、電話・文書及び臨場による技術指導の実施や講習会を開催 【重点指導蔵17蔵、全県講習会1回、地域別講習会5カ所】(委託先:長野県酒造組合)
2	県産酒造好適米の活用促進	補助金	長野県育成の酒造好適米(金紋錦)を使用して全国新酒鑑評会を目指す酒蔵を対象として、酒米購入費用等を助成(補助先:大信州酒造(株))

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	信州日本酒PR事業	0 千円	4,330 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	紙媒体での情報発信	直接	信州日本酒の振興にかかる酒蔵紹介ブックレットを増刷【3,000部】
2	WEB上での情報の一元化及び情報発信	補助金	信州日本酒を効果的に県内外へ発信するため、県酒造組合ホームページの再構築(県内酒蔵の情報の一元化、英語対応等)にかかる委託費、筆耕翻訳料に対し助成(補助先:長野県酒造組合)

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	ワイン醸造技術支援事業	979 千円	1,562 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	里親ワイナリーによる醸造技術研修	直接	ワイナリー開設希望者の醸造技術向上を図るため里親ワイナリーによる醸造技術研修を実施 【里親登録11件、研修生3人】
2	ワイン・シードル醸造技術セミナーの開催	直接	若手醸造家等のワイン・シードル醸造技術の向上を図るため、2月25日・26日にワイン及びシードルの醸造技術課題について先進地の取組を学ぶセミナーを開催 【ワイナリー設立希望者15名参加】
3	地域ワイン分析ラボの普及	委託	委託業務に替え、ワイン分析の課題等について、2月18日開催の千曲川ワインバレーフォーラムにて取組事例を発表し、科学的分析技術を用いたワイン用ぶどう栽培について普及啓発を直接執行
4	醸造技術支援体制整備事業	直接	工業技術総合センター食品部門職員(1名)を令和元年12月～令和2年3月まで、オーストラリアの専門機関へ派遣。(派遣先:オーストラリアワイン研究所)

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
4	NAGANO WINEブランド発信事業		10,102 千円	6,187 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	首都圏等での情報発信	委託	首都圏での知名度向上及び消費拡大を図るため、令和2年2月9日にNAGANO WINE Fes in Tokyoを開催 【事業者及び一般参加者約600名、参加ワイナリー33社】（委託先：NAGANO WINE応援団）	
2	観光業者向けPR	委託	飲食店、酒販店、ホテル旅館業など、主に観光・サービス業の事業者向け試飲会を開催。参加ワイナリー26社。観光事業者98人 （委託先：NAGANO WINE応援団）	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
5	NAGANOWINEグローバルチャレンジ事業		7,601 千円	5,288 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	海外への発信	委託	世界のワイン界に影響力のある有識者（ジェイミー・グッド氏）を招へいし、県内ワイナリーの試飲評価及び講演を開催 【試飲評価34銘柄、国際コンクールの出品実績 7社19品】 （委託先：(株)JTB長野支社）	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
6	原産地呼称管理制度運営事業		5,695 千円	5,755 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	長野県原産地呼称管理制度運営	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査会の実施 【日本酒（3回）、焼酎（2回）、ワイン（2回）、シードル（2回）、米（2回）合計254点認定】 ・ 認知度及びブランド向上に向けたPRを実施 【長野の酒メッセ年3回、ワイン・シードルガーデン及びNAGANO WINE Fesにおけるブース出展】 	